

水産業の体制強化を

総合戦略に盛り込む



なかじま いちろう 中島 一郎 議員

として、サザエの放流を検討する。カツオ水揚げは、販売体制の強化、そして活餌担当職員の雇用等を総合戦略に盛り込み、漁協や活餌対策協議会の体制強化に努める。

問 水産業の新規就漁者の育成と漁業生産量の維持確保のために、魚礁設置や優良種苗の放流、そしてカツオ水揚げ誘致の体制強化について問う。

答 尾崎 海洋森林課長

新規就業時における費用負担を軽減して、新規就漁業者の促進や育成を図り、再開予定の定置網漁業の支援を行う。資源確保は、沿岸域における投石やヨコワ採捕に向けた中層魚礁設置による漁場形成を計画する。また優良種苗

問 商工業の振興は、町の産業の推進を効果的に実行するために、「黒潮町産業振興推進事業」への積極的な取り組みと事業承継や後継者の育成支援を検討するべきではないか。

答 武政 総務課長

地域の消費喚起と地域住民の生活支援策として、商工会と商品券の発行を継続する。町の産業の推進を効果的にするために、商品の企画及び開発、加工、販路拡大等、生産段階から販売段階まで総合的に支援し、地産の強化を図

り、雇用の確保までを地方創生先行型で取り組んでいる。また、商工業の後継者問題については、農林水産業の支援策を参考に検討する。

高齢者対策

運転免許返納制度は

今後の検討課題に

今後の検討課題に

問 近隣の市町村では、交通事故防止対策の一環として、

運転に不安を感じながらも生活手段として車の運転を継続している高齢者が、各種サポートにより運転免許証を返納しやすい環境としている。町でも、この制度の適用はできないか。

答 村越 地域住民課長

高齢者の運転免許の自主返納に対して、様々な支援策を実施しているところがある。またタクシー・チケットの補助をして、サポートしている事例もあるが、いくつかの課題も考えられる。



活餌畜養施設（カタクチイワシ）への運搬状況

行政課題

管理職に女性職員登用を

前向きに検討

問 女性の登用を促すための、女性活躍推進法が成立し

どのようなサポートが高齢者の方々の生活を維持して、交通事故のリスクを回避する制度になるのか検討している。

た。町では、管理職に占める女性の比率が0%であるが、管理職に登用して、女性の視点からの職場や環境づくりに取り組むべきではないか。

答 松田 副町長

同法の成立により、女性の占める割合などの数値目標等の行動計画を策定し、その中で管理職の登用についても検討をする。